

## 事業報告書

1 支援団体名	第27回水シンポジウム2023 in さが実行委員会
2 事業名称	第27回水シンポジウム2023 in さが
3 実施日時	令和5年8月3日～令和5年8月4日
4 実施場所	佐賀市文化会館(佐賀県佐賀市日の出1丁目), 他
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 8月3日にシンポジウム, 4日に現地見学会を開催した。シンポでは, 開会式に続き, 京大防災研所長の中北教授の特別講演があり, 治水計画に気候変動の影響を反映し, 流域治水の考え方が含まれるようになった経緯などが語られた。その後, 分科会形式で地元にはゆかりのある研究者や河川管理者などにより, 環境と治水をテーマにそれぞれ議論された。次に, 地元の河川関係の市民団体による活動報告があり, 河川との関わり方について話があった。現地見学会は佐賀のユニークな水関連施設5箇所(嘉瀬川ダムなど)を見学した。
	(事業実施効果) 二つの分科会の討議結果をもとに, 全体会議で以下の提言を取りまとめ全国へ発信した。 『佐賀平野の水マネジメント文化に学び, 豊かな水環境を守りながら気候変動に向けた新たな流域治水へ!』 気候変動の影響を組み込んだ治水計画や流域治水, 日本一の干満差をもつ有明海に流れる河川における特徴的な自然生態系, 低平地を流れる河川における流域治水のあり方をキーワードとした議論が行われ, 一般市民の方にも現在の治水などの取り組みを紹介できた。
6 参加内訳	総人数 332名
	(1) 主催者参加 26名
	(2) 日本人参加( (1) を除く) 294名
	(3) 外国人参加( (1) を除く) 2名
7 今後の方針	今回は令和元年の東日本台風で多数の堤防決壊が発生し壊滅的な被害を受けた千曲川が流れる長野県において11月の開催が決定しています。被災から5年が過ぎ, 河川事業も進んだ状況で, 今後展開される流域治水に関する議論が行われる予定です。

開会式の様子



特別講演の様子



第一分科会の様子



第二分科会の様子



全体会議の様子



現地見学会の様子(嘉瀬川ダム管理坑内)

